

# 仕事と家庭のジェンダーギャップ解消事業【青森県】

個別事業費	5,795 千円
交付金額	2,897 千円

## 地域の実情と課題

- 男性の家事・育児参画  
男性の育児休業取得率が低く、また、夫婦間の家事・育児参画時間に大きな格差がある。
- 女性管理職  
管理的職業従事者に占める女性の割合は全国平均と比べ高いものの、自信がない、家事育児との両立が困難であるなどの理由から管理職への就任を望まない女性も多い。
- 中小企業における女性活躍推進  
県内企業の大多数を占める中小企業での女性活躍推進の取組を支援していく必要がある。

## 事業の特徴

県内スーパーなどの掃除用品等のコーナーに「カジダンデー」と表記したスイングポップなどを設置し、買い物を通じて男性の家事参画への行動変容を促した。

女性活躍推進のための中小企業向け研修会を実施したほか、本県企業の状況や課題、今後の方向性などの調査結果を報告書としてまとめ、公表した。

## 事業の効果

県内スーパーの協力を得て、男性の家事参画に関する啓発を効果的に実施することができたほか、研修会を通じて、企業における女性活躍推進に関する機運が醸成された。

【数値目標達成度】

- ・あおりカジダンデー啓発イベント来場者数：191名
- ・中小企業を対象とした研修会：48名

## 目的・目標

働きたい女性とその個性と能力を生かし、活躍できる職場環境づくりを進める企業を増やすとともに、女性活躍推進に不可欠な男性の家事参画促進に関する啓発を行う。

- 【数値目標】
- ・あおりカジダンデー啓発イベント来場者数：120名
  - ・中小企業を対象とした研修会：100名

## 連携団体

【あおり女性活躍推進協議会】  
青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会、青森県中小企業団体中央会、青森県中小企業家同友会、一般社団法人青森県経営者協会、青森経済同友会、一般社団法人青森県銀行協会、青森県信用金庫協会、日本労働組合総連合会青森県連合会、社会福祉法人青森県社会福祉協議会、青森県農業協同組合中央会、青森県森林組合連合会、青森県漁業協同組合連合会、一般社団法人青森県建設業協会、国立大学法人弘前大学、青森労働局、青森県市長会、青森県町村会

## 今後の課題

男性の家事・育児参画の促進、代替要員の確保など育休等の制度を利用する従業員をカバーする体制の整備、休業が不利にならない人事制度の整備、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の導入などの必要性がある

# 事業の概要

## 1 「男性の家事シェア体験イベント」の開催

日時: 令和6年1月14日(日)及び1月21日(日)  
場所: 青森県内ショッピングセンター  
来場者数: 191名

来場した男性に普段行っている家事についてアンケートを実施するとともに、県の取組について周知を行った。また、男性の家事シェアを応援する便利グッズの体験してもらった。



## 2 「男性の家事シェア促進企画」の実施

実施期間: 令和6年1月から2月  
場所: 青森県内スーパー等

身近な家事である買い物を通じて男性の家事参画への意識を高めるため、県内スーパー等123店舗において男性の家事シェアにおすすめの商品付近に「カジダンDAY」スイングポップを設置した。



## 3 「あおもり女性活躍推進協議会」の開催

日時: 令和5年10月31日(火) 15:30~16:40  
場所: 青森市内ホテル

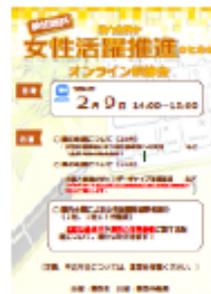
企業における女性活躍推進のための取組事例の発表、県内企業の女性活躍推進に関する調査業務についての中間報告を行ったほか、協議会構成団体間の情報共有や意見交換を実施した。



## 4 「県内企業の女性活躍推進のためのオンライン研修会」の開催

日時: 令和6年2月9日(金) 14:00~15:00  
場所: オンライン開催  
参加人数: 48名

青森労働局との共催により実施。国や県による取組照会のほか、女性活躍や仕事と育児・介護の両立に関する県内企業の事例紹介を行った。



## 5 女性の活躍推進に関するアンケート調査の実施

調査対象:  
事業者調査 県内従業員規模10人以上の1,000事業者  
従業員調査 事業者に勤務する従業員2,000人  
調査期間: 令和5年9月1日~9月20日  
回収状況:  
事業者調査 有効回答370(37.0%)  
従業員調査 有効回答649(32.5%) (内訳 男性129、女性507)

県内企業の女性活躍推進を取り巻く状況や課題、今後の方向性などを業種・地域横断で調査・分析し、報告書として取りまとめ、あおもり女性活躍推進協議会やHPで公表した。